

## 【都算研とは】

東京都算数教育研究会は、昭和 26 年、千代田区立永田町小学校の山内俊次校長を初代理事長として発足しました。

以来、令和まで、子どもたちの学力向上のためには、子どもたちが算数の学習を楽しむためにはどのような授業が必要なのか、昔も今も変わらない教師の思いをつなぎ、70 年が経とうとしています。

昭和 29 年には、第 1 回研究発表会が開催され、「会員 500 名」という記述が残っています。また、昭和 39 年には、現在も実施している学力実態調査の第 1 回が実施されています。当時の記録を見ると、その時代時代の教育課題をとらえた研究や講演会、調査の足跡が残されています。

研究・調査とともに、人材育成も都算研の大切な役割です。都算研の研究員は、現在、14 期を迎えています。

平成 30 年度には、第 100 回全国算数・数学研究大会が東京で開催され、都算研はこの運営や研究発表に深く関わりました。令和 2 年度には、都算研創立 70 周年記念式典と関連事業を行う計画です。

長い歴史を経て引き継いできた算数科指導の知見を結集し、新しい時代の課題に正対して研究を進め、次世代の算数科指導のリーダーを育成するべく、都算研は活動を続けています。